

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	消防局
担当課	救急課
課長名	正代 莊一
施策番号	
II - 1 - (2) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	応急手当の普及啓発活動の推進				
	突然の病気や怪我等により傷病者が発生した場合に、傷病者のそばにいる市民が適切な応急手当を行うことで、傷病者の救命効果は向上します。また、AEDの使用が一般的に認められたことで、さらに市民の応急手当による救命効果の向上が期待されています。そこで、AEDの取扱いも含め、市民に対する応急手当の普及啓発活動を推進します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	2,084 千円	千円			課長 0.13 人 係長 0.50 人 職員 1.85 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	目標値を上回る受講者数となっているため、今後も受講しやすい講習会を開催していきたい。	応急手当講習を個人でも受講しやすくするため、公募の講習回数を増やすと共に、いつでもどこでも都合の良い時に応急手当の学習ができるようWEB講習を導入。
----	-------------------	-------	--	--

【Plan】計画

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	【Do】実施 → 【Check】評価	
	全市民	突然の病気や怪我等により傷病者が発生した場合でも、そばにいる市民が適切な応急手当を行うことができるまちを目指します。	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	応急手当講習の受講者数		40,000 人	%	
	傷病者のそばにいる市民が適切な応急手当を行うことで救命効果は向上します。多くの市民にその知識・技術を学んでいただくことを目的としています。 (最終目標と目標年度)				

【Check】評価(分析)

活動計画	どうやって目的を達成するか	市民からの受講依頼に対し、講習を実施するとともに、市政だよりや市のホームページで啓発を行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	講習の実施及び広報		講習の実施及び広報	%	
	市民からの受講依頼に対し、講習を実施するとともに、市政だよりや市のホームページで啓発を行います。			%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	消防局
担当課	警防課
課長名	松本
施策番号	
II - 1 - (4) - ③	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要						
事業名	自主防災活動の推進					事業概要
	地域防災力の向上を目的に自主防災組織「市民防災会」の育成指導を行います。					
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.20 人
	6,596 千円	千円			5,800 千円	係長 0.20 人 職員 0.20 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	市民防災会の組織に関する事として、組織年齢の高齢化や防災訓練の参加者が固定されるなどの課題があります。また、役員他団体(まちづくり協議会や社会福祉協議会等)との兼務による負担も挙げられます。	見直し内容	解決の方向性として、母体となる自治会への若手等加入者の促進や各種イベントを活用した幅広い層の参加者が見込まれる防災啓発を企画するなどの工夫を検討していきます。 特に、地震体験車(H25年度運用開始)を活用した地震体験訓練を実施するなど実体験型の防災啓発を推進していきます。
----	-------------------	---	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
地域防災力		各区で実施している防災訓練、防災講演会等の市民防災推進行事への参加により自主防災の意識付け、地域防災力の向上を図ります。 現在、市内全域の校区・地区(195校区・地区)に設置されており、維持・継続します。		26年度実績	26年度実績(達成率)
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	地域防災力の向上		地域防災力の向上		
	自治会全てに結成されている市民防災会を維持・継続し、地域防災力の向上を図ります。 (最終目標と目標年度)				%
	(最終目標と目標年度)				%

活動計画	どうやって目的を達成するか	防災訓練、防災講演会などの市民防災推進行事への参加すべての市民防災会(195校区・地区)が、防災訓練、防災講演会などの市民防災推進行事に1回以上参加することにより、自主防災の意識づけ、地域防災力の向上を図っていきます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	各市民防災会の市民防災推進行事への年間参加回数		195 回		
	全ての市民防災会(195校区・地区)が年間1回以上の参加を目標としています。				%
					%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

事業概要							担当局	消防局
							担当課	予防課
							課長名	尾花 博幸
事業名	住宅防火対策の推進						施策番号	
							II - 1 - (4) - ③	
事業概要	地域防災ネットワークにより、福祉関係者・地域住民等からのあらゆる情報を活用し、高齢者・障害者等の訪問活動を行い、防火・防災啓発の普及を図るとともに、火災及び焼死事故等の防止に努める。						事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
								コスト 事業費
		1,382 千円	千円		24,700 千円			

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	住宅用火災警報器は、全国水準を上回る普及率であることから、今後も設置促進の広報を実施していくとともに、未設置世帯への設置を促していく。 また、住宅防火訪問を実施する消防隊の他の業務との兼ね合いを考慮し、目標件数を達成することが課題と考える。	見直し内容 住宅防火訪問を実施する消防隊に対し、火災予防広報の必要性を再確認させ、他の業務へ支障とならないような効率のよい実施を考察する。 市民等へ住宅防火訪問の必要性を広報し、地域協力を得る必要がある。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	高齢者・障害者等	住宅火災での高齢者・障害者等の死亡率が高いことから、消防隊が高齢者宅等を訪問して防火指導等や、住宅用火災警報器の設置促進を図り、火災及び焼死事故等の低減と出火危険の排除を目指す。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	住宅用火災警報器の普及率		全国水準を上回る普及率	%	
	普及率の目標設定については、秋(11月)、春(3月)の火災予防運動期間中に市民を対象にアンケートを実施し、11月から3月の増加率で月平均を割り出し算出しています。 (最終目標と目標年度) 全国水準を上回る水準				%

活動計画	どうやって目的を達成するか	消防隊が高齢者・障害者等の住宅を訪問し、防火指導を行うとともに、火災及び焼死事故等の防止を図ります。 住宅用火災警報器設置の必要性について、各種媒体やイベント等あらゆる機会を通して広報を行い、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置を図ります。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	住宅防火訪問件数		3,000 件	%	
	住宅防火訪問件数の目標値設定については、一消防隊あたり概ね30件で市内108隊が訪問した場所で算出しています。				%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

		担当局	消防局
		担当課	警防課
		課長名	栴嶋
事業名	事業概要		
	消防団施設整備		
事業概要	消防団活動の拠点となる消防団施設については、災害防御拠点及び地域防災コミュニティセンターとして、十分な機能を有していなければなりません。旧耐震基準の庁舎及び老朽、狭隘化が著しい庁舎を整備し、消防団の機能強化を図るものです。		
	事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
	66,369 千円	千円	目安の金額
		課長	0.20 人
		係長	1.00 人
		職員	2.00 人
		(人件費備考)	

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	H24年度は移転先を確保するために、各関係間との調整に時間を費やしました。着工から竣工まで、関係局及び建築業者との連絡を密にし、事業を円滑に進めるむよう取り組む必要があります。	見直し内容	H25年度は本部2、支部1の新築及び他3施設の実施設設計等の完了を目指して事業に取り組んでいます。各関係機関との調整をスムーズに行い、事業が滞らないように事務を進めます。
----	-------------------	--	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	消防団施設	老朽、狭隘施設の建て替え及び耐震化を完了させ、災害防御拠点及び地域防災コミュニティセンターとして、十分な機能が保たれた状態を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	消防団施設整備による地域防災力の向上		地域防災力の向上		
	地域防災の要である消防団施設の整備により防災力が強化された状態を目指します。			%	
	(最終目標と目標年度) 地域防災力の向上				
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	H25年度に実施設計を行った3施設の新築工事にむけて、各関係機関との連絡調整を円滑に行い、年度内での竣工を目指します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	消防団施設整備		2 施設		
	H26年度に2施設の新築を目指し、消防団の充実強化及び地域防災力の向上に努めます。			%	
					%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

事業概要							
事業名	消防署所の適正配置					担当局	消防局
						担当課	人事課
事業概要	人口動態及び都市構造の変化、災害の大規模化など、消防を取り巻く環境の変化に対応した消防力(消防署所の開設や消防隊の配置)を整備します。また、市民サービスの公平性の観点から、消防署所の適正配置や効率・効果的な部隊運用を推進します。					課長名	小清水 豊
						施策番号	
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長	0.05 人
	144,900 千円	千円			10,075 千円	係長	0.50 人
						職員	0.60 人
						(人件費備考)	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	消防署所の適正配置に必要な建設用地や予算の確保等が課題となっています。	見直し内容
			北九州市の「安全・安心なまちづくり」を目指すため、引き続き、事業着手が可能なものから早急に整備等を進めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	北九州市	消防を取り巻く環境の変化に対応した消防力を整備し、効率・効果的な部隊運用等を推進することで、「安全・安心なまちづくり」を目指します。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	八幡東区の消防機能の強化					
	消防署の完成、稼動により、八幡東区の消防機能を強化します。 (最終目標と目標年度) 28年度開署				%	
	門司区の消防機能の強化					
	消防署の完成、稼動により、門司区の消防機能を強化します。 (最終目標と目標年度) 31年度開署				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	八幡東消防署の建築工事、門司消防署の基本設計・地質調査、八幡西消防署の移転先の決定を行います。			活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	八幡東消防署の事業進捗					
	八幡東消防署の整備完了に向け、事業の進捗状況を指標とします。			建築工事の開始	%	
	門司消防署の事業進捗					
	門司消防署の整備完了に向け、事業の進捗状況を指標とします。			基本設計 地質調査	%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

事業概要						担当局	消防局
						担当課	予防課
						課長名	尾花 博幸
事業名	緊急通報システム					施策番号	
						II - 2 - (1) - ③	
事業概要	高齢者や重度身体障害者がいる世帯の火災やガス漏れ、救急要請などの緊急通報を消防指令センターで直接受信し対応することにより、火災・救急による被害の低減を図るとともに、高齢者等が住み慣れた家庭で安心して生活できるよう支援します。					事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
							コスト 事業費
		52,026 千円			50,625 千円		

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	指令センター業務の支障になる、緊急でない通報を頻回に行う利用者に対して、消防局、保健福祉局及び各区役所等が緊急でない通報の件数を減少させるよう協力して対応することにより、本当に対応が必要な緊急の通報を早期に受信できる体制を維持するなど、質の高い行政サービスを維持していくことが今後の課題です。	見直し内容 今後も保健福祉局高齢者支援課、消防局、各消防署、各区役所で連携して、質の高い行政サービスを維持できるよう担当者会議等を実施し、課題等の共有を行っていきます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	高齢者等	住み慣れた家庭で安心して生活できる状態。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	高齢者等の安全な生活の実現		高齢者等の安全な生活の実現		
	緊急通報システムの設置世帯数は、今後さらに増加していくと予想されます。設置世帯数の増加に対して、質の高い行政サービスを実現することで実施を図ります。 (最終目標と目標年度)				%
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	保健福祉局高齢者支援課及び各区役所保健福祉課と連携し、緊急通報システムの制度概要や使い方をわかりやすく説明したリーフレット等を作成・活用し、設置世帯や市民へ周知します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	緊急通報システムの行政サービス維持・向上を図るためのリーフレット作成		リーフレット作成・配布・説明		
	保健福祉局高齢者支援課、消防局、各消防署、各区役所保健福祉課で、積極的にリーフレットの配布や説明等を実施し、行政サービスの維持・向上を図ります。				%
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	消防局
担当課	警防課
課長名	栴嶋
施策番号	
II - 2 - (1) - ③	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	いきいき安心訪問				
	女性消防団員が2人1組となって、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や、家庭内救急事故の予防指導等を実施します。 なお、ほとんどの女性消防団員が「介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)」の資格を有しています。 また、訪問の際に緊急通報システムの設置等も紹介し、有事の際に迅速に対応できるようにしています。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	355 千円	千円			課長 0.01 人 係長 0.05 人 職員 0.05 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	H24年度も目標とする訪問世帯数を達成できている。しかし、目標数は女性消防団員の条例定数を基に設定していることと、消防団員は他に本職を持っているため、目標数を達成できないこともあります。そのため、女性消防団員を確保することで、目標数を達成しやすい状態をつくっていくことが課題です。	見直し内容	現在の体制を維持し、目標数を達成できるようにします。
----	-------------------	--	-------	----------------------------

【Plan】計画

【Plan】計画		【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況
	高齢者	女性消防団員が2人1組となって、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や、家庭内救急事故の予防指導等を実施することで、火災や重大な事故の発生を未然に防ぐことを目的としています。	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標
	火災や重大事故発生の未然防止		火災や重大事故発生の未然防止
	一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や、家庭内救急事故の予防指導等を実施することで、火災や重大事故発生の未然防止に努めます。 (最終目標と目標年度) 火災や重大事故発生の未然防止		
	(最終目標と目標年度)		
		26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
		%	
		%	

【Check】評価(分析)

活動計画	どうやって目的を達成するか	女性消防団員により、年間2,464世帯の訪問を行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)
	女性消防団員による防火訪問		実施	
	介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)の資格を持った女性消防団員が福祉要素を取り入れた防火訪問を行います。			%
	年間訪問世帯数		2,464 世帯	
	現在定められている女性消防団員の定数(154名)で訪問可能な最大数(2,464世帯)を目標として実施しています。			%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要							担当局	消防局	
							担当課	人事課	
							課長名	小清水 豊	
事業名	消防音楽隊による文化活動						施策番号		
							Ⅲ - 2 - (2) - ②		
事業概要	市主催の式典や消防の各種行事に出演し、市民参加向上の役割を担うとともに、音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、市のPR活動や防火・防災啓発活動を実施します。併せて、幼少年の健全な育成等に寄与することを目的に、教育機関と連携し、積極的に幼少年教育に貢献します。						事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
								(人件費備考)	
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長	0.00 人	
		8,474 千円	千円			4,800 千円	係長	0.15 人	
						職員	0.44 人		

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	H24年度は、成果・活動ともに目標以上の数値を達成し、防火・防災普及啓発に繋がったものと考えますが、財政状況が厳しい中今後も今以上の効果に繋がる活動を続けていく必要があります。	見直し内容
			更なるコスト削減に努めながらも、今以上の効果に繋げるために演奏内容や演出等、内容の充実を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	市主催の式典や消防の各種行事に出演し、音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、市のPR活動や防火・防災普及啓発活動を実施します。併せて、幼少年の健全な育成等に寄与することを目的に、教育機関と連携し、積極的に幼少年教育(消防“夢”コンサートの開催)に貢献します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	防火・防災普及啓発			防火・防災の普及啓発	%	
	音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、防火・防災の普及啓発を図ります。 (最終目標と目標年度)単年度目標設定なし					
	消防音楽隊出演回数 訓練日数の確保等から年間150回程度の出演が適切であると考えます。公演内容を工夫することなどにより依頼数の確保に努めます。 (最終目標と目標年度)毎年度150回程度			150 回		

活動計画	どうやって目的を達成するか	警察音楽隊は、県下全域の出演を担当し多忙であることから、警察音楽隊の負担とならぬよう日程調整を密に行っていきます。毎月18日に警察音楽隊が北九州市で行う安全安心コンサートで共演する予定にしています。			活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	警察音楽隊との合同演奏			2 回	%	
	安全・安心を担う二つの組織が連携し、音楽を通じて「安全・安心」を市民にPRします。両音楽隊とも出演多忙であること、他の行事とのバランス等を考慮し、年2回の合同開催を目標としています。					
	ホームページアクセス件数 市民に活動内容等を知ってもらうことで、知名度が上がり、出演依頼の増加に繋がると考えられます。積極的に更新し、見てもらえるホームページ作成を心がけます。			37,000 件	%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>